

半導体漫遊記 ⑮

湯之上隆

東芝の原子力事業が7000億円もの巨額損失を計上する。このままでは債務超過になるため、NAND事業を分社化し、その株式を3割程売却することにより、債務超過を回避することになった。

東芝には、9人の取締役と34人の執行役がいる。これだけ多数の役員がいるのに、原子力事業で7000億円もの損失がでるといって大不祥事が、本当に、昨12月末まで分からなかったのか？

だとしたら、全員、経営責任を果たしておらず、役員である意味

をして、辞めていただきたい。

また、東芝の原子力部門を統括しており、一時はウエスチングハウス(WH)の社長を務めていた志賀重範会長が辞任すると報じられているが、このタイ

東芝の細川智社長は、1月27日の記者会見で、「最注力してきた原子力の位置づけを変えていく」と説明したが、「今さら何を言っているんだ」と思

2011年3月11日に東日本大震災が起

東芝の経営方針に掲げ

乗り切るには、まず第一に、社長が本来持つべき経営権を行使する必要がある(嗚呼、なん

東芝会長は敵前逃亡するな

社長の経営権行使が要

職金などは、びた一文も貰う権利はない。

ただし、辞める前に落ちし前はつけてもらいたい。NAND事業を分社化し、新会社を立ち上げ、その株の売却益で東芝の債務超過を回避させる。ここまでは、きっちり仕事

東芝の細川智社長は、1月27日の記者会見で、「最注力してきた原子力の位置づけを変えていく」と説明したが、「今さら何を言っているんだ」と思

2011年3月11日に東日本大震災が起

東芝の経営方針に掲げ

乗り切るには、まず第一に、社長が本来持つべき経営権を行使する必要がある(嗚呼、なん

東芝の細川智社長は、1月27日の記者会見で、「最注力してきた原子力の位置づけを変えていく」と説明したが、「今さら何を言っているんだ」と思

2011年3月11日に東日本大震災が起

東芝の経営方針に掲げ

乗り切るには、まず第一に、社長が本来持つべき経営権を行使する必要がある(嗚呼、なん



図1 東芝の細川智社長(左)と志賀重範会長(右)